



安藤 豊作

新市の行政施策は

質問

周辺地域の対策は。

答弁 市長

三重町中心部は人の集中により活気や賑わいが考えられます。反面旧町村ではこれまで以上に過疎高齢化の進行や、まちづくり推進に影響が出てくると思います。今後このような状況を踏まえ、住民の利便性を図り交通や情報のネットワーク、住宅、上下水道の生活基盤の整備を図ります。

質問

常備消防及び消防団体制の施策は。

答弁 市長

常備消防体制は、朝地町・緒方町を竹田市に事務委託しているが経過措置でありこの解消に向け白杵市、

竹田市と同一期に解消の方向で協議します。広域化の流れを十分視野に入れ、早い機会に市長レベルの話し合いの機会を設けます。

答弁 総務部長

連合消防団制については、合併協で統合する事で確認されています。市消防団一本化に向け現在調整しております。調整が整い次第統一します。

質問

農業重点施設に関して。

答弁 市長

担い手の確保を最優先します。基幹となる認定農業者の育成、集落営農の組織化・法人化さらには企業的農家の育成を推進します。

農業公社については、清

川・緒方・大野・朝地の4公社を18年4月の合併に向けて準備を進めています。

答弁 産業経済部長

指導体制については1市1農協の体制が整いました。関係機関と緊密な連携を図り、市が責任を持って体制作りを行います。



市民の安全と安心を担っています 豊後大野市消防本部



三浦 正吉

合併メリットが生かされていない市政運営

質問

新市がスタートして3カ月が経過した。住民の声は福祉サービスの低下などで圧倒的に市政に不満の声が高く合併メリットが生かされていない。政策は。

答弁 市長

合併メリットは、「利便性の向上」・「サービスの高度化」・「財政の効率化」などであります。市民の全面的な協力、参加が不可欠であり「協働・共創のまちづくり」を進める中で政策の構築を図ります。

豊後大野市を

大きく売り込もう

質問

市民意識の向上も大切です。これからは自治体間での競争の時代です。知名度のアップは重要である。行政としての取り組み施策は。また、他団体、組織などでは統一がされていないが指導は。

答弁 市長

意識の変革はすぐには困難ですが、イベントやスポーツを通じ交流事業の中から醸成を進めます。また団体、組織についてもアドバイスを行ない統一へ推進します。

大野地方振興局は
新市に必要な

質問

県は地方機関の再編を進めており、豊肥地域での振興局を1箇所にする方針である。振興局の有無は地域産業の振興・発展に影響するし、また新市のまちづくりにも困難をきたす。対策は。

答弁 市長

県に対し強くアピールし熱意を伝えていきます。議会・市民・行政を挙げて行動を起こします。



存続をめぐって 今 渦中の“大野地方振興局”